

# DXP パネルの操作方法

アーティクル



**nVisage**DXP  
**Pretel**DXP

DXP Panels offer alternative views into design documents, along with specialized tools

Software, documentation and related materials:

Copyright © 2002 Altium Limited.

All rights reserved. Unauthorized duplication, in whole or part, of this document by any means, mechanical or electronic, including translation into another language, except for brief excerpts in published reviews, is prohibited without the express written permission of Altium Limited.

Unauthorized duplication of this work may also be prohibited by local statute. Violators may be subject to both criminal and civil penalties, including fines and/or imprisonment.

Altium, Protel, Protel DXP, DXP, Design Explorer, nVisage, CAMtastic!, Situs and Topological Autorouting and their respective logos are trademarks or registered trademarks of Altium Limited. All other registered or unregistered trademarks referenced herein are the property of their respective owners and no trademark rights to the same are claimed.

# DXP パネルの操作方法

概要 .....	1
パネルの概要 .....	1
全体のデザインパネル .....	2
PCB-Schematic パネル .....	2
エディタ固有のパネル .....	3
パネル情報 .....	3

## 概要

このアーティクルでは、標準のグラフィカル環境に加えて、設計ドキュメントを別の形で表示し、操作を行う為のツールとなるパネルについて説明します。これらのパネルのいくつかは、（各エディタ以上に）システムに関連しています。いくつかは、主なデザインエディタで利用でき、その他は特定のエディタでのみ表示されるパネルがあります。この文書は DXP の主なデザインパネルについての概要が記載されています。

## パネルの概要

ワークスペースの周囲にはパネルが用意されています。（パネルが非表示になっている場合は、View メニューを使用するか、またはワークスペースの下のパネルコントロールボタンをクリックしてパネルを表示させます。）パネルは機能により変化します。いくつかのパネルは、デザインが特定の状態になるまで動作しません（Inspector パネルは、あるオブジェクトを選択するまでは空欄で、Navigator パネルは、あるドキュメントをコンパイルするまでは空欄になっています。）その他は関連するエディタをアクティブにして利用できます。

パネルはワークスペースの端にドッキングするかクリップでき、クリップ状態にした場合は、パネル名の上にカーソルを置くとパネルが表示されます。あるいは、ワークスペース上でフローティング状態にするか非表示にできます。パネル名を右クリックすることによりドッキングのコントロールができます。また、パネルをドラッグしている間、Control キーを押すと、通常のドッキング状態にはできません。

通常、ホットキーはパネル内では機能しないか、別の機能に割り当てられます。例えば、設計ドキュメント内での矢印キーは、パンズームしますが、List パネルのスプレッドシートでは、矢印キーは、その列と欄を移動します。DXP では、新たにシステムレベルコマンドとして、アクティブなパネルとドキュメント間で自由に移動できる設定を導入しました。フローティングパネルの表示、非表示を切り替えるコマンド（F4 キー）と、最後に使用したパネルとドキュメントのどちらをアクティブにするか切り替えるコマンド（F5 キー）は、Customize ダイアログで確認できます。

## 全体のデザインパネル

---

ほとんどのパネルは、一つのエディタに制限されません。

**Files** パネルは、プロジェクトファイルを含む、新規または既存のドキュメントを開く為のパネルです。

**Projects** パネルは、オープンされている全てのプロジェクトを表示します。プロジェクトファイルとしてオープンされていないドキュメントは、フリードキュメントとして **Projects** パネルに表示されます。このパネルに表示されているプロジェクトのグループは、プロジェクトグループファイルとして保存されます。

**Help Advisor** は、トピックの自然言語検索を行うことができます。ヘルプドキュメントの種類は、アーティクル、チュートリアル、プロセスか **What's This help** になります。検索履歴は保持され、そこから再度、検索することができます。

**Libraries** パネルは、PCB、回路図や統合ライブラリなどそれぞれの登録されたライブラリを表示します。これらのライブラリは、デザインドキュメントに直接コンポーネントを手動で配置する際や、ドキュメントの更新を行った場合に、違いがあるコンポーネントを自動で配置する為にアクセスします。

**Messages** パネルは、プロジェクトがコンパイルされると自動で表示されます。メッセージは、**Project Options** ダイアログの設定に従って報告されます。個々のメッセージをダブルクリックすると、**Compiled Errors** パネルが表示され、そのメッセージに関連するプリミティブを表示しています。このパネルの内容は、容易にそれぞれのエラーを解決できるようにエラーの場所を表示します。**Messages** パネルで別のメッセージをダブルクリックすると、**Compiled Errors** パネルが更新され、その選択したメッセージに関連する内容が表示されます。そのパネルの内容が、順番に **Compiled Object Debugger** パネルで表示されます。必要に応じて **Messages** パネルでデータをソート、フィルタ、削除することができます。

## PCB-Schematic パネル

---

DXP の主要な 2 つのエディタである PCB と回路図エディタは、プログラム内の他のツールで利用できない一連のパネルを共有しています。

**Navigator** パネルは、各エディタに割り当てる方法で設計ドキュメントを通して導きます。実際、回路図エディタは、コンポーネント、ピン、ワイヤ、ネットに関連する接続パスに沿ってデザインを通して操作させる **Browser** に関連付けられます。

**Browser** で操作する場合、**Shift** キーを押したままオブジェクトの上でクリックして下さい。これは、目的のオブジェクトをフォーカスし、他のナビゲーションツール (**highlight, select, graph and zoom**) により、接続構成を表示します。

**Browser** か、**Navigation** パネルのどちらかでクリックし、**Alt** キーを押すと、PCB ファイルが開いている状態ならば、回路図ファイルと PCB ファイル間のクロスグループを実行できます。

**List** パネルは、論理的な表現を通してフィルタを構築します。それは、**Query Helper** へのアクセスを提供し、DXP を動かすクエリ言語を使用する際に役立ちます。特定のコマンドをハイライトしている間に **F1** キーを押すと、オンラインヘルプは、正しい方法で操作する為のコマンドを広範囲に渡り手助けします。フィルタの履歴を使用すれば、以前に使用した構文を利用することもできます。

**Project Options** ダイアログで **Navigator** パネルと **Browser** パネルに表示されるオブジェクトをコントロールできます。

List パネルのスプレッドシートに表示されているオブジェクトは、フィルタ表示されます。ここで、欄を分類して配列したり、更に、マスクを使用してフィルタ適応範囲を狭くしたり、項目を選択して直接、属性を編集することができます。グループを選択して、一度に作成するグループを編集する為の特別なオプションを Inspector パネルで使用できます。

Inspector パネルに表示された共有する属性の項目を一度に編集することができます。一度、変更したい項目を全て選択すると、このパネルに表示され、変更することができます。これらの属性の修正は、セレクトされたオブジェクトに反映されます。

例えば、ワイヤ、バス、ポート、シートシンボルを同時にセレクトすると、パネルには共有する属性である Color の項目が表示されます。さらにコンポーネントをセレクトに追加すると、Color 属性はコンポーネントには存在しないので、Inspector パネルから Color の欄が除外されます。

メモ：PCB エディタでは、Inspector パネルには、特定の PCB ファイル内でセレクトしたオブジェクトの項目のみ表示されます。しかし、Schematic エディタでは、Inspector パネルは、開いている全ての回路図シート内のセレクトしたオブジェクトの項目を表示します。ショートカットキー X、A でカレントドキュメントの全てのオブジェクトをセレクト解除し、ショートカットキー X、D は、開いている回路図ドキュメントの全てのオブジェクトをセレクト解除します。

## エディタ固有のパネル

一部のパネルは、いくつかのエディタを介して分けられ、ドキュメントがアクティブ時のみ利用できます。PCB と回路図ライブラリのドキュメントとして、例えば、各々がフットプリントやコンポーネントを探したり、編集する為のライブラリエディタパネルがあります。PCB エディタは、ネット、コンポーネント、ルール違反、from/to's、スプリットプレーンの詳細情報を確認したり編集できる PCB パネルがあります。同様に Text, CAM, Simulation エディタでも、それぞれ固有のパネルがあります。これらのパネルは、各エディタに割り当てられた異なった動作を行います。

## パネル情報

DXP で利用できる多くのパネルには、注目すべき高度な機能があります。そして各パネルの目的と手順を記述したオンラインヘルプを利用することをお勧めします。ヘルプの参照は、パネルをアクティブにして（パネル内でクリック）、F1 キーを押すことで行えます。

特定のパネルについての追加情報は、他のアーティクルに含まれています。Libraries パネルは、「統合ライブラリを使用したライブラリ管理」のアーティクルで、List パネルは、「クエリ言語の紹介」のアーティクルで、更に Projects パネルは、「Protel 99 SE からのデザイン変換」のアーティクルで説明しています。